

国家試験本番での問題の解き方

【概要】

「時間配分」「冷静さ」「諦め（正答できる問題を確実に）」が鍵🔑✦
試験時間中に考えていることは全て問題用紙に書き込む⇒時間短縮ケアレスミス防止！

↓
試験前に練習が必要（練習で出来ていないことは本番でも出来ない）

●受験する前に決めておくこと

①具体的な時間配分 ⇒ 例：「〇問目を終わったところに、経過時間〇分」

※時間が足りなくなってしまうと、試験の後半に出てくる事例問題（得点を取りやすい問題）
に落ち着いて取り組むことが出来なくなり、得点源を失うこととなる。

②悩んだとき（全くわからない問題が出たとき）に選ぶ番号 ⇒ タイムロスを防ぐ。

③マークシートのズレを確認するタイミング ⇒ 例：「科目が変わる時」

●問題を解くときの手順

①問題文に線や印をつけながら読む。

- ・「正しいもの、適切なもの（誤っているもの、不適切なもの）」の部分に線を引く。
- ・「1つ、2つ」の部分に丸印をつける。

②選択肢に書き込みをしながら解く。

- ・解きながら考えていることを全て書き込む。
⇒「なぜその選択肢を選んだか」がすぐにわかり、見直し時間を短縮できる。

【問題：第22回_問題13】

ストレス反応の1つであるバーンアウトの症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 理解と発話の両面での失語症状が生じる。
失語症？
- 2 人を人と思わなくなる気持ちが生じる。…○
脱人格化
- 3 近時記憶の著しい低下が生じる。
認知症？
- 4 視覚的な幻覚が頻繁に生じる。
レビー小体型認知症？
- 5 他者との関係を強めようとする傾向が生じる。
弱め

③見直しの時に考え直す問題（落ち着いて考えればわかりそうな問題）に「☆」をつけておく。

⇒ “1問あたり1分30秒”を目安に、深く考え込まず次の問題に進む。

※考えてもわからない問題（覚えていなければ絶対に正答を導き出せない問題）は諦める！

④必ず全ての問題のマークシートを埋めながら進める（空欄のままにしない!）。

⇒無回答で進めると、マークミスによる大量失点のリスクが生じる。

⑤見直し 【原則：解答は変えない（変える時は、自信がある時だけ!）】

- ・受験番号や氏名に、間違いや空欄がないことを確認する。
- ・問題用紙とマークシートを見比べて、マークミスがないことを確認する。
⇒「正しいもの、誤っているもの」「1つ、2つ」に見間違いがないかどうかを確認する。
- ・「☆」を付けた問題をもう一度解きなおす。